

2024 年度 事業報告

2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

<特筆すべき成果と課題>

■ 北アルプス国際芸術祭の公式レストラン

カフェ＆レストラン YAMANBA の運営に注力した一年だった。実質 7 年ぶりに活動を再開した YAMANBA ガールズは前回より開催日と受け入れ人数を増やし、毎日フル回転での運営となった。来場者から好評を得ただけでなく、担当した 30 代から 70 代の女性たちが達成感を得るとともに、活動を通じて新たなつながりが生まれた。

■ 子どもの学び・体験（地球環境基金 助成最終年）

助成 3 年目の総括の年。コロナ禍では他に選択肢がなくて応募が多かったが、コロナ後は野外体験の集客に苦戦。観光客のファミリー層向けの収益事業化も試みたが、客層を掴めていない。一方、担い手育成の観点からは、ボランティアを募集して活動する中で人材育成をする可能性も見えてきた。

■ 教育旅行の展開

2021 年に旅行社を設立し、ぐるったがプログラムを提供する教育旅行を販売してきた。しかし、NPO が前面に出た方が学校側に受け入れられやすく、企業や行政の協力も得られ、学校連携の実績も PR しやすいことから、教育旅行は NPO 主体でブランディングし、売り出す方針に転換した。

■ 香港理工大学からのインターン

5 月に旅行社主催のスタディツアーを実施し、参加者から 2 名がインターンとして 7～8 月に滞在。夏のイベント運営の補助に加え、駅前公園の看板制作、みずの音マップ、大町ダム資料館の展示デザイン、英語ガイドの養成など多岐にわたる業務に関わり、大町に大きく貢献した。スタッフにとっても学びの多い有意義なインターン受入れとなった。

(1) 自然環境の保全と活用

1) わっぱらんど等フィールド保全（ゆうちょエコ・コミュニケーション助成 1 年目）

大町市の農業用温水路「わっぱらんど」とその周辺にある里山林の整備。春～秋にかけて様々な自然観察イベントや環境学習を行うフィールドに使えるよう、里山と公園の整備を行った。

- わっぱらんど開き 4/14 大人 6 人
幟立て、落ち枝拾い、間伐を行った。
- テーブル修繕と草刈り 6/9 大人 13 人、子ども 1 人
あずまのテーブルに地元材を貼って防腐剤と塗布。
ヒノキの丸太を皮むきし、草刈りを行い、奥の 2 つの古い物置を片付けて後日撤去した。
- ベンチづくりと草刈り 7/15 大人 13 人、子ども 4 人
地元材のヒノキの丸太を半分に割り、表面にカンナをかけた。足になる部分はチェーンソーで削ってノコギリで切った。
用水路の脇に 6 台を設置して、防腐剤を塗布した。
- わっぱらんど仕舞い 11/24 大人 5 人
落ち葉を集めて木の根元に寄せ、公園内ののぼりを回収。雪に備え、ツリーハウスのテラスにシートをかけて養生した。
- まちづくり行政懇談会 12/20 参加者 6 人＋市長・市職員 3 人
「わっぱらんどの会」の活動終了に伴うふりかえりと今後について懇談。
ぐるったが引き継ぐ今後の活動についても、役割分担や地元の理解を得られるよう話をした。



板を貼ってテーブルが新品に



地元の木材でベンチづくり

2) ネイチャーツアー

今年度は開催せず

3) 信州環境カレッジ学校講座

市内小学生の環境学習

- 「学校のまわりの生き物を観察しよう」(新規)
5/17、31、6/21、7/12 八坂小中 7人
- 「ミニ水族館をつくろう ガサガサ調査隊」
8/28 北小1年 45人、9/2 東小1、2年 38人、
9/4 南小1年 33人



八坂小中の田んぼで観察会

(2) 子どもの体験・学びの場づくり

1) 北アルプス山麓における SDGs の学び場づくりと環境保全 (地球環境基金3年目、最終年)

<学びの場づくり>

- 探鳥会と道草を食べる会(宮の森、わっぱらんど) 4/28、5/4
講師: 小林芽里 参加者: 13人/12人、スタッフ2人/1人
- 夜の昆虫探検隊(ANAホリデイ・インリゾート信濃大町くろよん) 7/13、7/27、8/10、8/12
講師: 宮田紀英さん、中村晃二さん 参加者: 計64人(子ども33、大人31)
- わっぱらんど25周年夏祭り(わっぱらんど) 7/21
約160人(うちピザ19枚、魚のつかみ取り77人)
- 宿題かたづけ隊(大町市文化会館) 7/30、31
参加者: 小学生38/39 計77人
スタッフ2人、大人5人、大学生5人、高校生5人
- 木崎湖カヌー体験(B&G艇庫) 8/6、7 4回
参加者: 小学生3年生~中学生 44人
- 温泉でお菜洗いと野沢菜漬け 11/30、12/1 参加者: 61人
- カンジキで雪の森探検(千年の森自然学校) 1/19
講師: 朝重孝治さん 参加者: 大人5、子ども5、計10人
- カンジキをつけて動物の足跡を追え!(木崎湖) 2/2
講師: 藤田達也さん 参加者: 中学生1、高校生1、大人8、計12人
- 木崎湖で野鳥観察+ほねとはねのお話(木崎湖) 2/15
講師: 藤田達也さん 参加者: 中学生1、大学生4、大人7 計12人



宿題かたづけ隊の食育

<パンフレット・教材制作>

教育旅行の誘致にむけて、①ぐるったの教育プログラム紹介冊子 B5版カラー20p

②森林体験パンフレット B5版カラー巻3つ折り、③森林体験教材 B5版カラー8p を制作。

1') 北アルプス山麓における森の学び場づくりと環境保全 (ゆうちょエコ・コミュニケーション1年目)

- 竹林整備と淡竹採り 6/15 (八坂)
講師: 北澤豊繁さん 参加者: 大人9、子ども6、スタッフ2
協力: 白馬村母子会「ははそは会」
- 森×アートの舞台裏を見に行こう! 8/16 (海ノ口 荒山林業の森)
講師: 香山由人さん、小林雅文さん 参加者: 大人6、子ども2
協力: 北アルプス林研グループ、北アルプス国際芸術祭実行委員会
- わっぱらんどのリフレット作成 B4カラー巻3つ折り 1000部



森づくりアート

2) 地元学校支援

職場体験の受け入れ 9/22、23 大町中 2 年 2 人
芸術祭レストランのお客さんとスタッフにインタビュー、
商品開発を行った。



職業体験で凍り餅の商品開発

3) 教育旅行（プログラム提供）

- 武蔵野五中・八坂小中「八坂紹介」9/9
※通学路クイズを作成したが、クマ出没で中止に。
- 武蔵野三中「まちなかアドベンチャー」 9/25 101 人
黒部ダムの足跡を中心に、クイズを解きながら 21 カ所のポイントを巡るツアー

4) その他プログラム提供

- ひなたマルシェ「水の飲み比べ」（ANA 信濃大町くろよん）5/19 参加者：66 人
- 高瀬溪谷フェスティバル「水辺の安全クイズラリー」（大町ダム）7/20 参加者：10 組 24 人
- 香港理工大学デザイン学部 3 年 インターン生受入れ
7/1～8/26 Arther Keung、Duey Tam

(3) 食文化の発信・継承

- 1) お菜洗い&野沢菜漬け（信毎文化財団助成）*再掲
11/30、12/1 講師：信濃大町のつけものや 参加者：61 人

- 2) 北アルプス山麓グランフォンドの実施

エイド 11 ヶ所で食の提供とボランティアコーディネート
7/7 参加者 約 800 人、
スタッフ 137 人 ボランティア証明書は 42 部発行（大町中、白馬中、八坂小中ほか）



宿題かたづけ隊で「英語で話そう」

- 3) その他自転車イベント等のエイド運営と食の提供

アルプスあずみのセンチュリーライドの大町エイド（往路）
と鹿島槍エイド（往路・復路）で食の提供とボランティア
コーディネート

4/21 桜の AACR 参加者 約 1200、スタッフ 30 人
5/26 緑の AACR 参加者 約 1500、スタッフ 34 人



大町エイドのボランティアたち

- 4) 北アルプス国際芸術祭 公式レストランの運営

- 横山タカ子先生の料理講習会 6/19、7/17、8/19
- カフェ & レストラン YAMANBA の運営 9/13～11/4
YAMANBA ガールズの事務局として、中綱湖畔のラーバン中綱で公式レストランを運営。
9/13～10/9 はニジマスがメインの「初秋の御膳」
10/11～11/4 は鶏肉がメインの「錦秋の御膳」
監修に郷土料理研究家の横山タカ子さんを迎え、地元のお母さんたちが採れたての旬の食材を
丁寧に料理して、民話の語りと共に約 2400 食を提供。
1Fのカフェでは、おにぎりやおやき、コーヒー、スイーツの他、物産で地元菓子屋さんのスー
ーツやお漬物、凍り餅、木工作家のクラフト作品などを販売。（別紙参照）

5) その他プログラム提供

- ふるさとの伝統食、凍り餅を食べてみよう（信毎文化財団助成）12/17
民話の読み聞かせと凍り餅を作って食べるワークショップ
講師：YAMANBA ガールズ 参加者：東小 1、2 年生 38 人、先生 5 人、講師 6 人

(4) 地域情報の収集発信・蓄積

1) 情報デザインの受託

- 大町ダム情報館のパネル展示
国土交通省の河川協力団体として3ヵ月ごとに展示制作
「水の安全」「国際芸術祭」「水にまつわる民話」「つり情報」
- 仁科神明宮リーフレット制作
- 「信濃大町みずの音(ね)マップ」
大町市みずのわプロジェクト委託 A5版カラー 3000部
- 大町市 駅前広場公園設置案内板 大町市観光協会委託
- 農業用水路の紹介冊子「水人利図(みとりず)」印刷
長野県北アルプス地域振興局農地整備課委託委託 カラー28p 2000部
- 地域づくりネットワーク リーフレット作成



みずの音マップは観光協会等で配布
インターン生がデザインの一部を担当

2) ガイドの養成・派遣(地球環境基金)

- 香港からのインターン受入れに合わせた英語ガイド養成
7/2 ミーティング 9人、7/18 松崎和紙、仁科神明宮 6人
7/25 市野屋、わちがい 8人、7/28 若一王子神社、8/9 ぶりかえり 9人
- 残雪の森でネイチャーガイド研修(千年の森自然学校)
3/9 講師:朝重孝治さん 参加者:9人 自然の楽しみ方、安全配慮、説明のポイント等
- 探究学習(SDGs)旅行プログラム現地研修会(長野県学習旅行誘致推進協議会 主催)
2/20 飯山 かまくら村、なべくら高原 3/11 乗鞍 リトル・ピークス

3) Web・SNS等を活用した情報収集発信

<https://www.grutta.net/> 投稿19回
Facebook 投稿28回、いいね805(-5)、フォロワー861(-2)
X: @GruttaNetwork 累計948ポスト、フォロワー73(+6)、フォロワー129(+27)
Instagram: @grutta_omachi 投稿7回、フォロワー147(+45)、フォロワー372(+102)

(5) 地域連携・協働

1) 市民活動のサポート・地域連携

- 自治体の計画案を読む会 パブコメ募集の機会に計画案を読み合わせる勉強会
1/17 大町市観光振興計画を読む会 昼の部9人、夜の部7人
2/28 大町市地域公共交通計画を読む会 8人

2) 会議室・プリンター・備品等貸出

プリンター:おはなしカリヨン、大町の未来を考える会、山猫情報局、山の日プロジェクト、アートフロントギャラリーほか

3) 団体加入

大町市観光協会、大町商工会議所、大町商工会議所青年部、地域づくりネットワーク、長野県みらい基金、国交省河川協力団体

4) 委員出向

大町まちづくり協議会(理事長)、定住促進協働会議(藤巻監事)、
北アルプス国際芸術祭実行委員会・大町中学校学校運営協議会・みんなで支える森林づくり北アルプス地域会議・長野県農地多面的機能支払事業懇談会・中心市街地活性化基本計画策定委員会(鈴木)、大町市立山岳博物館協議会、大町市観光審議会(小林)

(6) 組織の管理運営

- ・総会 5/23 会員 7 人+委任状 15 人 22 人/総数 34 人
- ・理事会 5/23 理事 5 人+委任状 1 人 6 人/総数 10 人
- ・三役会 2/14 理事長・副理事長・事務局長 4 人
- ・事務局会議 週 1 回、NPO と旅行社の合同会議で各事業の進捗・成果・課題を共有
- ・会員サービス 11/8 活動のお知らせ+大糸線カレンダーを郵送
その他、随時メールで情報提供
- ・会員の増減 正会員 37 人、賛助会員 2 人 8 社 6 人入会、3 人退会